

授業科目	保育内容 人間関係				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	WE21614J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP5-1 DP5-2			
担当教員	中島 俊介							
授業概要	<p>社会の変化と多様なニーズに伴い、保育者の役割と期待される専門性が変化しつつある。そのことを踏まえ保育者に求められる職責、資質、専門性は度について理解を深める。授業者が30年ほど前、大学院生の頃、講義科目に「教師道」というものがあった。教師経験者の多く通う専門職大学院であったため若い教員が「試合もないのに道とはおおげさな」と言っているのを耳にした。そのご教職経験を積み「教師“道”」と名付けた教官の思いが少しわかる気がする。「道」とは「踏み外してはならない、道すじ」である。「原理・原則」といえる。「最大の教育環境は教師自身である」との言葉がある。どのような保育士像を志すのか。初めの一步で方向性が決まる。本講義を通して子どもの幸不幸も保育士の手によだねられているとの自覚と誇りを持ってもらいたいと願う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者としての意義・役割・多様な職務などに関する知識・理解を深める。 2. 保育者の制度的位置づけと具体的な働き、求められる倫理、協働への意欲等の理解を深める。 3. 保育者の専門的成長について理解する。 4. 今日の保育ニーズに対応できる知識とスキルを身に付ける 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	20	0	0	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20				5	5	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10	10			5	5	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5	5			5	5	20	
技能・表現 (DP5-2)	5	5			5	5	20	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
保育者としての多様な職務などに関する知識・理解を深めている。保育者の制度的位置づけと具体的な働き、求められる倫理、協働への意欲がみられる。自己の専門的成長についていつも関心を払っている。今日の保育ニーズに対応できる知識とスキルを身に付けようと努力をしている。				保育者としての基本的な職務などに関する知識・理解を持っている。保育者の制度的位置づけと具体的な働き、求められる倫理、協働へ理解がある。自己の専門的成長について関心を払っている。日的保育ニーズに対応できる知識とスキルの基本を身に付けようとしている。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション。授業内容の説明と予定について概略する。	講義	予習;しシラバスを読む。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
2	自分の人間関係スキルを自覚する 1. 心理劇の手法を知る。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
3	自分の人間関係スキルをじかくする 2. 心理劇をやってみる。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
4	子どもと保育者の人間関係スキルを高める 1. 質問力について考える。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習.;授業の記録を読み質問を考える 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
5	子どもと保育者の人間関係スキルを高める 2. 二人1組で心理劇(空の椅子)をやってみる。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
6	保育者の聴く力が人間関係のカギであることを学ぶ 1. 質問力を高めることの重要性に気づく。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
7	保育者の聴く力が人間関係のカギであることを学ぶ 2. 質問力を高めるワークをやってみる。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
8	親子関係について知識を深める。里親制度について考える。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
9	子どもの権利と人間関係について。子どもの権利条約から人間関係を考える。虐待についても考える。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
10	保育者の共感性を高める応答スキル 1.	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
11	保育者の共感性を高める応答スキル 2. ことばの背後にある感情に気づく。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分

12	子どもの幸せを守る(幸福追求権の実現された)人間関係について。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
13	ケンカから仲直りするスキルについて 1。平和学からの12の提言を知る。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
14	ケンカから仲直りするスキルについて 2。平和学からの12の提言を心理劇で体験してみる。	講義。必要に応じてグループディスカッション。	予習;授業の記録を読み質問を考える。 復習;授業記録をまとめる。次回までの課題に取り組む計画を立てる。	60分
15	授業のまとめ	講義	予習;授業の記録を読み返す。	60分
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	保育所保育指針を理解している。心理学一般と発達心理学や臨床心理学の基礎を学んでいる。			
テキスト	別に指定しない			

参考図書・教材／ データベース・雑誌 等の紹介	適宜紹介する
授業以外の学習 方法・受講生への メッセージ	真摯な学問対応を求めたい。「質問ができる」ように努力してほしい。そのためには新聞記事や日々のニュースに興味と関心を払ってもらいたい。
達成度評価に関する コメント	小レポート及び小テストの内容については授業の中で支持します。定期テストの内容についても授業中に示唆するので熱心な授業態度で臨んで欲しい。達成度評価方法の「その他」は授業貢献度で評価します。